

【日時場所】

2019/9/22 (日) 第8戦終了後 テクニクスステージタカタ

【参加者】(クラブ名のみ記載、順不同 敬省略)

ACA、CCM、MACC、MCCS、TEAM INDY、BDC、TTS、CMSC島根、CMSC広島、KRC
ASAHI、Y・C、PAS、EB、SPIRIT、チェリッシュ、ASC山陰、メープル、ORANGE、RCH、HUMC

【議題】

1. 2019年度の参加台数報告

2019年度は全8戦、総台数350台となり、1大会平均44台となった。
2018年度の平均42台を上回ったものの、年間10戦を行った2017年度の平均48台を下回っている。
⇒厳しい状況と考え、引き続き参加台数増加に向けて活動を行っていく。

2. NS1クラスのJMRC表彰について

今年度のN2クラス、SA2クラスの参加台数が少ないため、N2とSA2に分けて表彰していたJMRC表彰を、JAF表彰と同じNS1の1クラスとして表彰する方針に変更したい。
⇒反対意見はなく、2019年度のJMRC表彰はN2とSA2クラスについて、JAF表彰と同じNS1クラスで表彰する。

3. 来シーズンのクラス区分について

前回の部会において、GRラリー「C1 アクア」「C2 ヴィッツ」の車両規定へ適合している車両をPN1クラス参加可能とし、クラス名はPN-1+ (ピーエヌワンプラス) とする方針とした。しかし、JAF規定とは異なる車両規定のため、採用が難しいとJMRC中国の委員会にて意見が出た。本件について下記既定内容で進めて良いか、賛否を確認する。

【PN1+クラスの内容】

JAF規定のPN車両及び気筒容積1500cc以下の2輪駆動のB車両(ラリー車両規定のRPN車両に限定する)
⇒ダートラ部会出席者の多数決により、JMRC中国として、上記車両規定を採用する。

【主要意見(趣旨のみ)】

- ・参加台数増につなげるために、今回のような改定は歓迎する
- ・PNクラスとRPNクラスはこれまでファイナルギア変更可否が大きな違いだったが、来年度の車両規定変更でPNクラスにおいても同一型式内のファイナルギアであれば変更可となったため、RPN規定を組み入れても問題はないと思う(RPNはPNと比べ、スタビ/助手席フルバケ必須、スペアタイヤ/消火器取り付け必須等)
- ・前回までのダートラ部会で話し合った内容が活かされていないのでは？参加者の多いGRラリー参加者を引き入れること、PNクラスの規定と比べて、優位性を持つ規則が少ないことからGRラリー規定を追加する方針だったはず。RPN車両規定の追記では、当初狙った目的とずれているのではないか。
- ・RPN車両で参加した選手のポイント区分はどうなる？
⇒PNクラスのポイント対象として扱う(RPN車両の参加者はPNクラスとしての参加者のため)

4. 来年度のダートラ部会の人員配置について

下記の通りの人員にて2020年度のダートラ部会を運営する。

部会長	三好 工
広島支部	矢野
島根/鳥取支部	松岡
山口支部	上田
岡山/福山支部	坂本

5. 連絡事項

- ・JAFカップ・オールスター/西日本ダートフェスティバルへの参加よろしくお願ひします。
⇒参加申し込みは各主催地区のHPを参照し、申込書一式を三好部会長へ送付ください。
- ・2019年 中国地区モータースポーツ表彰式は2/2(日)に開催予定です。
- ・2020年度の地区戦日程案はJAFに提出済み(タカタ6戦、楠2戦)
正式決定後、JMRC中国HPなどを通じて展開予定。